

令和 7 年度静岡県耐震診断補強相談士更新者用資料

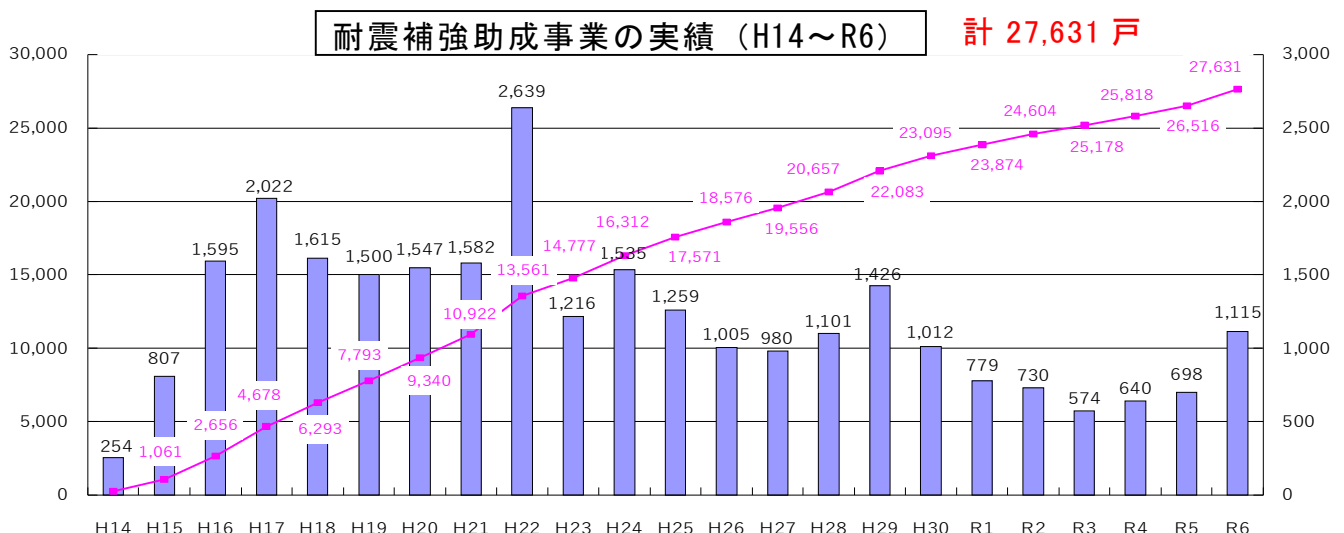
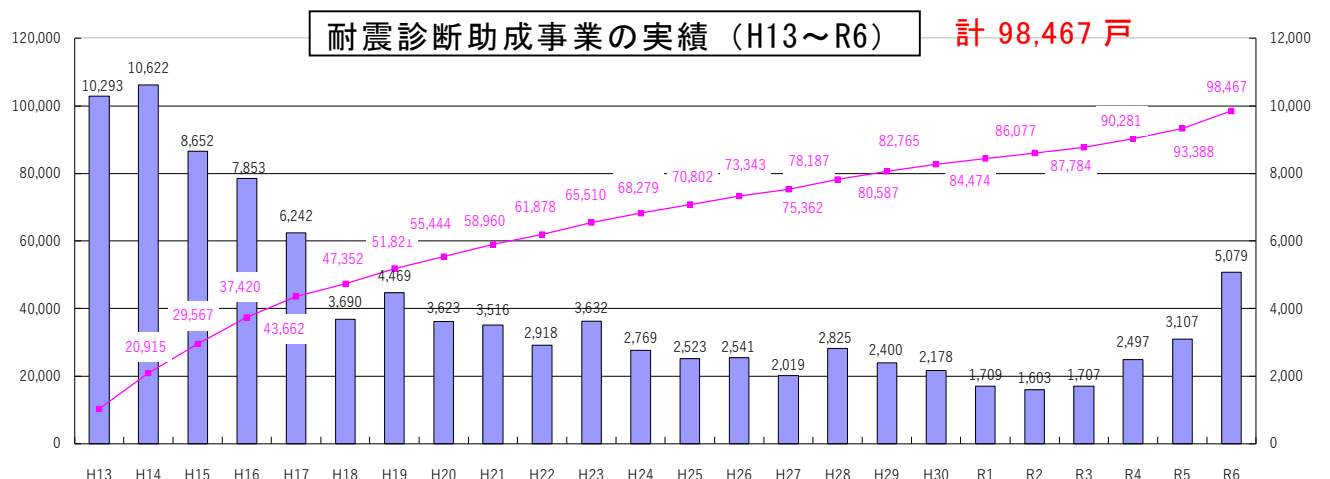
(静岡県建築安全推進課)

1 静岡県からお知らせ

皆様が登録されている耐震診断補強相談士の資格は、県が進めている木造住宅の耐震化事業プロジェクト「TOUKAI-0」(以下、「TOUKAI-0」という。)推進の担い手として、平成 13 年度に制度創設され、これまでに 6,000 名以上の方が登録されました。皆様には、わが家の専門家診断の実施など多方面で御活躍いただいております、その効果もあって令和 6 年度末時点の補助実績(累計)は、わが家の専門家診断が 98,467 戸、耐震補強工事への補助が 27,631 戸となりました。

※耐震補強工事への補助件数(累計)は全国 1 位(本県独自調査による)

しかし、TOUKAI-0 の制度創設から 20 年以上が経過し、近年は補助実績が減少傾向にあります。耐震化に消極的な方が多く残っている状況ですが、住宅の倒壊から一人でも多くの命を守るため、皆様には本資料の内容を踏まえて、住宅の所有者に耐震化の必要性を引き続き説明していただき、一人でも多くの方を耐震化に誘導していただきますよう御協力をお願いします。



2 T O U K A I - O を推進する上での注意点

(1) T O U K A I - O の総仕上げ

創設から約 20 年が経過した T O U K A I - O は、令和 7 年度末の耐震化率 95% 達成のため、耐震化が必要な住宅に居住する世帯に対して耐震化の重要性を確実に伝えるとともに、各世帯の事情に応じて「耐震化（耐震補強工事、建替え）」又は「命を守る対策（防災ベッド、耐震シェルター等）」のいずれかに誘導し、現耐震改修促進計画の総仕上げを図っています。

また、県は、さらなる耐震化率向上に向け、耐震改修促進事業継続の検討を行っています。

(2) 県内の耐震化の現状とナッジ手法を活用した誘導

県内の住宅の耐震化率は、令和 5 年時点で 92.8% です。

耐震化への誘導にあたっては、単なる周知に留まらず、対象世帯の行動変容につなげるため、近年多くの施策で取り入れられるようになった「ナッジの手法※」を用いて、耐震化のインセンティブを高めることが効果的と考えます。

今までは、耐震化が遅れていることを強調するあまり、逆に、「耐震化されていない住宅が沢山あるんだから、うちもまだやらなくても大丈夫。」という考えを持たせてしまった可能性があります。

今後は、「県内の 9 割以上の住宅は、すでに耐震化されている」ことを周知することで、「周りがやっているのなら、わが家も耐震化しよう」という気持ちに誘導するよう働きかけてください。

※ナッジ（Nudge）の手法とは、「人間の意思決定の癖を用いて、情報発信や選択肢の提示の仕方を工夫することにより、一人ひとりがより望ましい選択を取れるようそっと後押しする手法」のこと。

(3) 避難所生活をイメージする

住宅の所有者に被災後の避難所生活が大変であることをイメージしてもらうことも、耐震化への誘導につながると考えています。

また、避難所における感染症等への感染リスクが懸念される中、在宅避難の重要性が高まっています。従来の「命を守るため」だけではなく、「避難所での感染リスクを回避するため」にも、耐震化が重要です。



(4) 住宅の耐震化は「地域の課題」

住宅の耐震化は、「居住者の命を守る」だけではなく、地震後の復旧・復興において、「地域の負担軽減（他人や地域に迷惑をかけない、世話にならない）」にも繋がります。

住宅の所有者に対しては、各住宅の耐震化はその地域の課題であり、「あなた家の耐震化がその地域の防災を支える」という重要な役割があることを伝えていただき、耐震化を後押ししてください。

(5) 視覚的に訴える

住宅の所有者に耐震化の必要性を説明する際、タブレット等の端末が使える場合は、Wallstat（ウォールスタット）を活用した木造住宅の振動倒壊シミュレーション動画等を見てもらうことで、視覚的に耐震化の必要性を周知してください。

○木造住宅の振動倒壊シミュレーション動画

YouTube…TOUKAI-0（静岡県建築安全推進課）

URL …<https://www.youtube.com/watch?v=zxLPxYS008M>

(6) 各世帯の事情に応じた対策の提案

静岡県では、個々の事情に寄り添いながら、命を守る対策を総合的に提案しています。やむを得ない事情により耐震補強工事や建替えなど耐震化ができない場合は、耐震シェルターや防災ベッドの設置や耐震性のある住宅へ住み替えなど、耐震化以外の「命を守る対策」を住宅の所有者へ提案してください。

(7) リフォームと併せた耐震補強の実施

リフォームと同時に耐震補強工事を実施すれば、それぞれ別に工事を行うより、工事費が安く済むほか、耐震補強工事は補助金を活用することができます。耐震補強の必要性を周知するとともに、リフォームを機に耐震補強工事と一緒に実施するよう所有者に勧めてください。



(8) パンフレット等の活用

県では、プロジェクト「TOUKAI-0」の周知啓発に係るパンフレット・チラシ等を作成しています。所有者への説明の際は、各チラシをご活用ください。

○ 県作成パンフレットのダウンロードはこちら

県ホームページ「耐震ナビ」の「ダウンロード」ページより

URL…

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kenchiku/taishinka/1041569/1041773/1041775/1049099/1041599.html>

また、耐震化の検討にあたって、どのくらい費用がかかるかは、重要な判断材料になります。一般財団法人日本建築防災協会では、過去の耐震改修事例から、建物の構造種別、用途、階数及び述べ面積等に応じて、おおよその工事費の目安を算定する計算式を公開していますので、参考としてください。

○ 日本建築防災協会作成のパンフレットはこちら

日本建築防災協会ホームページ「耐震支援ポータルサイト」より

パンフレット【耐震改修】ってどのくらいかかるの？耐震改修工事費の目安

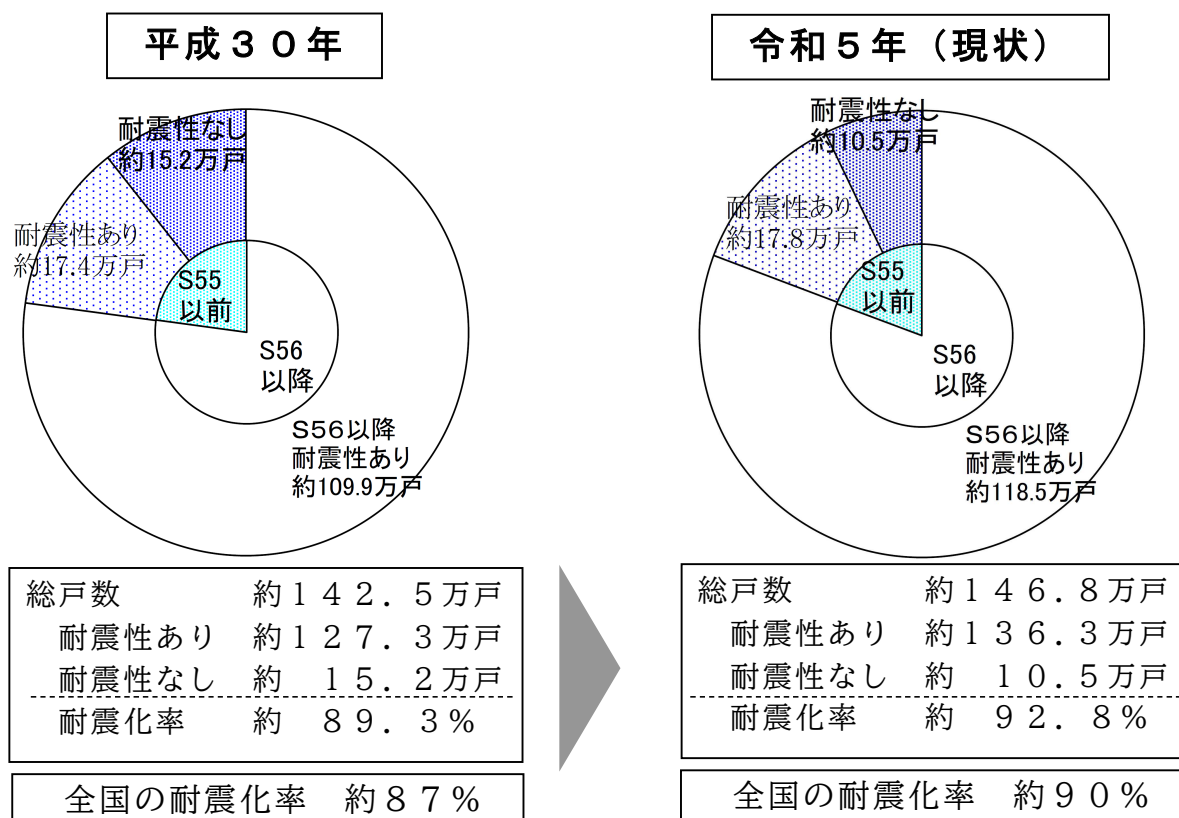
URL…<https://www.kenchiku-bosai.or.jp/files/2020/07/koujihi.pdf>

1 静岡県の住宅の耐震化の現状等

令和5年の住宅の耐震化率

令和5年住宅・土地統計調査（令和5年10月総務省調査）をもとに算出した令和5年の本県の住宅の耐震化率は、平成30年の89.3%から3.5ポイント上昇し92.8%となっています。令和5年の「耐震性なし」の住宅は、平成30年の約15.2万戸から約10.5万戸に減少しています。

住宅の耐震化率	平成30年	令和5年
静岡県	89.3%	92.8%
全 国	約87%	約90%



2 令和7年度各市町制度実施状況（木造住宅の耐震対策関係）

令和7年10月現在・県建築安全推進課調べ

No	市町	プロジェクト「TOUKAI-0」					耐震化以外の命を守る対策	
		木造住宅の耐震改修事業 補強計画一体型（万円）		建替え・除却 事業		移転事業	耐震 シェルター	防災 ベッド
		一般	高齢者等 割増	建替え	除却			
1	下田市	115	+20				○	○
2	東伊豆町	100	+20				○	○
3	河津町	100	+20					
4	南伊豆町	100	+20				○	○
5	松崎町	100	+20					
6	西伊豆町	100	+20				○	
7	熱海市	115	+20					
8	伊東市	100	+20		○		○	○
9	沼津市	100	+20		○	○	○	○
10	三島市	100	+20		○		○	○
11	御殿場市	100	+20		○			○
12	裾野市	100	+20			○		
13	伊豆市	100	+20				○	○
14	伊豆の国市	100	+20				○	○
15	函南町	100	+20		○		○	○
16	清水町	100	+20		○	○	○	○
17	長泉町	100	+20		○	○		○
18	小山町	115	+20					○
19	富士宮市	107	+20	○	○		○	
20	富士市	100	+20				○	○
21	静岡市	100					○	
22	島田市	90	+20	○	○		○	○
23	焼津市	100	+20		○	○	○	○
24	藤枝市	100	+20	○	○		○	○
25	牧之原市	100	+20				○	○
26	吉田町	100	+20				○	○
27	川根本町	100	+20				○	○
28	磐田市	95	+25		○	○	○	○
29	掛川市	100	+20	○	○	○	○	○
30	袋井市	100	+20	○	○	○		
31	御前崎市	100	+20	○	○		○	○
32	菊川市	100	+20				○	○
33	森町	120	+20		○		○	○
34	浜松市	100	+20				○	
35	湖西市	100	+20		○	○	○	○
実施市町数		35	34	6	17	9	27	26

3 技術講習会のお知らせ

静岡県では、例年、静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会と連携して、耐震診断・改修事業者の技術力向上を図ることを目的に、講習会を開催しています。

今年度は、以下の内容で開催予定ですので、是非御参加ください。

令和7年度 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会 講習会

参加無料

『低コスト工法講習会（木造住宅の耐震リフォーム達人塾）』

静岡県と静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会では、想定される巨大地震による建築物の倒壊被害から1人でも多くの県民の命を守るため、耐震化に係る普及・啓発事業、講習会を実施しております。

本講習会は、木造住宅の耐震化をより一層推進するため、比較的安価で工期の短い低コスト工法の普及に向けた「低コスト工法講習会（木造住宅の耐震リフォーム達人塾）」として、県内2か所で開催します。

耐震診断・耐震改修に携わる建築士や大工、行政職員など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【低コスト工法の特徴】

- ・床や天井の撤去・復旧を最小限に抑え、N値計算により合理的な補強を行うなどコストの削減を図りながら、耐震性能を向上させる工法。
- ・工事の際に引越しが不要で、工期も短縮することができ、建物所有者の負担が少ないのが特徴。全国の30都府県を超える地方自治体で採用されている。

【講習内容】

本内容は安価な耐震改修設計の重要性、精密診断の必要性は認識しているが、それを実行するための技術が未習得の建築士、大工、行政職員等を対象に行います。

ノートパソコンを持参していただき、『設計演習課題』を通して低コスト化の基本を習得します。初めて受講される方でも無理なくご理解いただける入門コース（アドバンスコース）です。

【主催】 静岡県/静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会

【共催】 国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター

【後援】 特定非営利活動法人 達人塾ねっと

【開催日時・会場】 ※会場には駐車場がありません。公共交通機関での来場をお願いします。

◆静岡会場：令和8年1月16日（金） 9：30～16：30 （9：00 受付開始）

静岡県男女共同参画センターあざれあ 2階大会議室（静岡市駿河区馬淵1丁目17-1）

◆沼津会場：令和8年1月22日（木） 9：30～16：30 （9：00 受付開始）

沼津商工会議所会館 4階会議室（沼津市米山町6-5）

※ 両会場とも同じ内容です。希望する会場を選択してください。

【対象者】 静岡県耐震診断補強相談士、建築士、大工、行政職員等

【受講料】 無 料 （テキストは当日配付）

【持ち物】 電卓（必須）、名刺（必須）、精密診断ソフトをダウンロードしたパソコン（推奨）

※パソコンはフル充電してご持参ください

〈「T.S」無料体験版ダウンロード Windowsのみ〉 <http://ebi-ken.co.jp/tatujin/>

または 達人診断 検索

【定 員】 各会場 50 名（先着順）

【締 切 り】 令和7年12月19日（金）まで

【申込方法】 右記QRコードよりお申込みください

※受付完了となりましたら改めてメールにてご連絡します。

【問合せ先】 協議会事務局（（一社）静岡県建築士事務所協会）

E-mail：shijikyo@mail.wbs.ne.jp／電話：054（255）8931



本講習会に出席される静岡県耐震診断補強相談士の方は、県が管理する静岡県耐震診断補強相談士名簿に本講習会の受講履歴を掲載します。

<講習会カリキュラム>

時間	講義内容	講師
9:30～(5分)	開会挨拶	
9:35～(45分)	住宅所有者への説明技術	井戸田氏
10:20～(55分)	低コスト耐震補強の手引き解説	花井氏
11:15～(5分)	休憩	
11:20～(40分)	設計例・施工例から学ぶ改修のポイント	丸谷氏
12:00～(60分)	昼食	
13:00～(10分)	耐震改修先進県の取り組みと事例	川端氏
13:10～(70分)	手計算で理解する必要耐力、N値計算法	成田氏
14:20～	【技術者】課題説明と入力演習(40分) 以降、4～5人のグループで実施	花井氏、丸谷氏
	【行政職員】耐震化促進に向けた対応(60分) 別室で開催	川端氏
15:00～(50分)	各自演習課題取り組み(適宜休憩含む)	全員
15:50～(40分)	達人案解説+質疑応答	全員
16:30	終了	

木造住宅の耐震リフォーム達人塾 講師紹介 (五十音順・敬称略)

井戸田秀樹	名古屋工業大学大学院教授
川端 寛文	NPO 法人達人塾ねっと理事長
成田 完二	木造耐震ネットワーク知多
花井 勉	(株)えびす建築研究所代表取締役
丸谷 勲	(株)U建築代表取締役

●静岡県からのお知らせ●

県では静岡県耐震診断補強診断士を募集しています。

市町からの委託を受け、わが家の専門家診断事業(木造住宅の耐震診断・相談)を行う専門家です。その他、耐震診断補強相談士のいる建築士事務所は、耐震補強計画の策定業務や耐震補強工事における評点の確認ができます。

(市町の耐震補強助成事業当の申請には、当相談士の参画が必要です。(一部の市町を除く。))

静岡県耐震診断補強相談士は、静岡県内に在住又は在勤の建築士(1級、2級、木造)、又は7年以上木造住宅の施工に関わった人で、県指定の講習会を受講し、相談士として認定・登録された方です。令和6年度末時点で約1,400名が登録されています。

詳細は県ホームページを確認してください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kenchiku/taishinka/1041569/1041773/1041775/1049095/1041792.html>



『低コスト工法講習会(木造住宅の耐震リフォーム達人塾)』 アドバンスコースを受講される方へ

「アドバンスコース」では、安価な耐震改修設計の効果的なノウハウ伝授を目指して、ノートパソコンを使った演習を実施いたします。パソコンのご準備等について、下記の点について事前にご了解・ご準備いただきますよう、お願い申し上げます。

1 ノートパソコンの持参について

本講習では具体的な例題を通して耐震改修設計の演習を行っていただく予定です。パソコンの持参は必須ではありませんが、耐震診断ソフトを入れたパソコンをお持ちいただくことにより講習効果が高まります。ノートパソコンご持参での受講をお勧めいたします。

2 「T.S.」のインストールについて

ノートパソコンをお持ちいただく場合、木造住宅の耐震診断のためのソフトウェアをインストールの上ご持参下さい。耐震診断ソフトは精密診断に対応したものであれば普段お使いのソフトで構いませんが、達人塾では安価な耐震改修専用に開発した『T.S.』のご利用をお勧めしています。『T.S.』は下記 HP から体験版を無料でダウンロードできます。

<『T.S.』無料体験版ダウンロード Windows のみ>

<http://www.ebi-ken.co.jp/tatujin/> また

3 演習課題の「達人診断」データについて

講習で用いる演習課題は、「設計演習課題(1)～(3)」です。いずれも、下記HPにて公開されています。『T.S.』用の入力データがダウンロードできますので、事前にノートパソコンに入れてお持ちいただくことで、効率よく演習を始めることができます。

<設計演習課題ダウンロード>

<http://tatsujinjuku.net/shiryo.html> また の「資料室」

また、同 HP から『T.S.』の超簡単マニュアルもダウンロードできます。事前にマニュアルに沿って操作方法を習得して頂くと、更に効率的な講習となります。

<『T.S.』超簡単マニュアルダウンロード>

<http://tatsujinjuku.net/shiryo.html> また の「資料室」